

まちの話 だい

8月8日 | 図書館員の仕事を体験

夏休み期間中、小学生を対象とした図書館員の1日体験会が、島田図書館で開かれました。

この事業は、児童に職場体験を通じて本の大切さを学んでもらうことを目的に、毎年行われています。今年は8月上旬の4日間、市内の小学生4～6年16人が参加。児童は、カウンターでの本の貸し出し・返却業務や図書整理などを体験し、仕事への関心を深めていました。



8月15日 | 川根の夏の風物詩

川根町家山の野守の池で、恒例の「野守まつり」が開催されました。

昼の部の「和船漕ぎ大会」には、中学生やレディース、仮装などの6部門に40組を超えるチームが参加。選手は2人1組で息を合わせてオールを漕ぎ、白熱したレースを繰り広げました。夜の部は灯籠流しや盆踊り、花火大会で締めくくられ、川根の夏を幻想的に彩りました。

8月10日 | 夜空に咲く鮮やかな花束

夏の夜の風物詩「大井川大花火大会」が、大井川河川敷の両岸で開催されました。

開催を心待ちにしていた16万人の見物客は、大迫力の10号尺玉10カ所同時打ち上げや数々の創作花火など、約8000発の競演に歓声を上げていました。フィナーレは、音楽に合わせた特大スターマインの連発。次々と両岸を照らし、夏の夜空を鮮やかに彩りました。

